

民の警告

キー・ヴァース「人の子よ：だから、あなたはわたしの口から言葉を聞き、わたしのために彼らに警告しなければならない。」

エゼキエル33:7

選ばれた聖句

エゼキエル33:7-20

エゼキエル書を斬新さというレンズを通して見る傾向がある。その結果、預言者が他の惑星からの訪問者との遭遇を記録しているとする本が書かれている。[これは本誌編集部の見解ではない] また、"ゴグ.....マゴグの....."と特定された侵略軍に関わる終末論的シナリオに興味を持つ者もいる。(エゼキエル 38:2)。その大群はイスラエルを攻撃し、ハルマゲドンの戦いを引き起こす。エゼキエル書の最後の章に進むと、新しい神殿の約束と、千年王国時代の栄光の到来が暗示されている。

これらの主題は聖書を学ぶ者にとって非常に興味深いものであるが、この魅力的な書物におけるもう一つのレベルの教え（ ）を心に留めておくとよいだ

ろう。その教えとは、責任を持つことである。常に警戒し、忠実である番人であれ。神の民の安全と霊的繁栄を見守りなさい。クリスチャンは、この点でエゼキエルを見習うのがよいだろう。私たちの行動によって、創世記4:9で提起された古くからの疑問、「私は兄弟の番人か？」という問いに "はい、そうです"と答えよう。

私たちのキー・バージョンは、エゼキエルが以前、主から見張り番を命じられたことを裏付ける。わたしが悪人に『あなたは必ず死ぬ』と言いながら、あなたがその悪人に何の警告も与えず、また、その命を救うために、悪人をその悪の道から戒める言葉を発しないとき、その悪人もその咎のうちに死ぬであろう。しかし、もしあなたが悪人に警告しても、その悪人がその悪から立ち直らず、その悪の道から立ち直らないなら、彼はその咎のうちに死ぬであろう。...それでも、もしあなたが正しい人に、正しい人は罪を犯してはならないと警告し、彼が罪を犯さないなら、彼は警告を受けたので必ず生きる。エゼキエル3:18-21

エゼキエル3:18-21 私たちは、他人の人生に干渉することを勧めません。それゆえ、キリストにある慰め、愛の慰め、御霊の交わり、愛と憐れみがある

なら、同じ志を持ち、同じ愛を持ち、心をつつにして、私の喜びを満たしなさい。何事も、利己的な野心やうぬぼれによってなされるのではなく、心を低くして、各自が自分よりも人を尊びなさい。あなたがたはそれぞれ、自分の利益だけでなく、他人の利益にも心を配りなさい。"ピリピ2:1-4

見張り番として行動する私たちは、聖書の枠に留意する。イエス・キリストは教会の長である。私たちは、神の評価において偉大な者になりたいと願う者は、仕える者になりなさいというイエスの教えに従おうとする、彼との共同労働者にすぎない。(マタイ23:11、ヨハネ13:14-16)。あなたがたのうちにいる神の群れを牧し、監督として仕えなさい。強制されたのではなく、進んで仕え、不正な利益のためではなく、熱心に仕えなさい。1ペテロ5:2,3

神は最終的に、イスラエルを牧するための言葉とビジョンをエゼキエルに与えられた。私たちもそうでありたい。主が家を建てなければ、建てる者は無駄な労苦をする。主が町を見守ってくださらなければ、見張りは無駄に立ちつくす」詩篇127:1。